



未来の先生展
2017

障がい者スポーツを通した 心のバリアフリー教育

開催日時 2017年8月26日(土) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館2F 205教室

司 会 者 小林忠広 (NPO法人スポーツコーチング・イニシアチブ)

内 容

教育方法によって、マイノリティを浮き立たせることで、生きにくいという世の中を作っている当事者になってしまっているということを理解していただく、セミナーを行います。障がいの理解という形で、「助けなければいけない」障がい者像をつくること・可哀想な人と決めつけることこそが、実は障がい者理解を遠ざける現状があります。スポーツを使って、障がい者の社会参画支援を行ってきた中で、健常者からの障がい者への偏見を取り除くのは実は容易であるということを経験してもらうことで、心のバリアフリーについて考えを巡らせていただきます。障がい者ではなく、この人が何をしたいか・何がやりたいか、という意志を尊重することの重要性に気づいてもらうために、障がい者の社会モデルを詳しく説明しながらワークショップを行っていきます。

ここに注目！

内閣官房の施行プロジェクトの一環として、パラリンピックのレガシーとしての共生社会実現と、心のバリアフリー教育に関する調査を行った結果から分析された、共生社会の在り方についてご説明します。また、社会モデルの理解だけでなく、実際に障がい者でも体験できるスポーツを体験頂き、更なる理解を体験知を通して会得して頂きます。本ワークショップ終了後には、健常者と障がい者、分け隔てなく、どのように共生型社会を目指していくか、そこにおいて教育はどのようにあるべきかのヒントを得て頂けると思っております。

団体（個人）プロフィール



橋本大祐（一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事）

筑波大学で障害児教育専攻後、ドイツで障がい者スポーツの指導法を学び、専門資格を取得。2009年に帰国し、障がい者の孤立防止、社会参加促進を目的としたプログラムの開発・普及・指導者の育成を行う。2013年、「一般社団法人ふうせん遊び協会」を設立。2016年、「一般社団法人コ・イノベーション研究所」を設立。障がい者に限らず、一般企業や大学等にもプログラムを提供するとともに、各地でセミナー講師を行う。ドイツ障がい者スポーツ連盟公認リハビリテーションスポーツ指導員。内閣官房の施行プロジェクトの一環として、パラリンピックのレガシーとしての共生社会実現と、心のバリアフリー教育に関する調査を行い、『心のバリアフリー教育・研修の指標作成に関する提言書』を提出。

参加者へのメッセージ

スポーツを通じて、共生を理解することは、単なる座学では得られないような知見を身に付けられると考えております。教育改革を目前とした中で、健常者や障がい者などの分け隔てを越えた新しい教育観が求められている中、ぜひ教育関係者の皆様には、考えをより深めることができる時間をご提供できればと考えております。

